

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・ソフト事業

コード	名称
事業名	3002 防災資機材整備事業
基本施策	15 自然災害等への十分な備えをする

担当部課名	総合危機管理課
作成者氏名	鹿島 泰近
連絡先	内線2320

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民等の生命、生活の維持		被災時における初動対応としての、被災者への物資の供給、救助活動及び避難施設内での必要な資機材を整備することで、被災者の救出、救援物資の迅速な配付ができる。
本年度事業内容	なし	
開始年度	平成 19 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等	伊賀市地域防災計画	

投入資源

	H19	H20	H21
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	5,000	5,000	5,000
需用費	3,000	3,000	3,000
備品購入費	2,000	2,000	2,000
合計(A+B)	8,600	8,600	8,600
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金		150	250
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	8,600	8,450	8,350
上記①～③に関する特記事項 緊急地域総合防災推進事業(県単) 補助率 1/2 限度額5,000千円			

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 21 年度	年度
備蓄食料の購入	食	30000	
災害対策資材の購入(毛布)	枚	10000	
災害対策資材の購入(ブルーシート)	枚	2000	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H21目標値
非常食備蓄数	伊賀市人口の1割へ3日間食料を供給する指標とする。	食	30000
災害対策資材数	伊賀市人口の1割へ供給する指標となる。		

評価	必要性	4	一人3日分の食料等を確保するよう周知しているが、緊急時に避難施設へ避難誘導した場合、食料持参で移動するのは難しいため、初動対応として、市が食料備蓄する必要がある。また、市内で同時に複数箇所が被災した場合、救助物資等も複数の箇所が必要なため、本庁、各支所単位で整備する必要がある。
	有効性	4	防災倉庫の整備と連携させることで、効果が発揮できる。
	効率性	3	備蓄食料については、賞味期限があり、年度更新が必要である。

総合評価

A